



## かまぼこ屋根や R（アール）屋根の入力方法

文書管理番号：1199-01

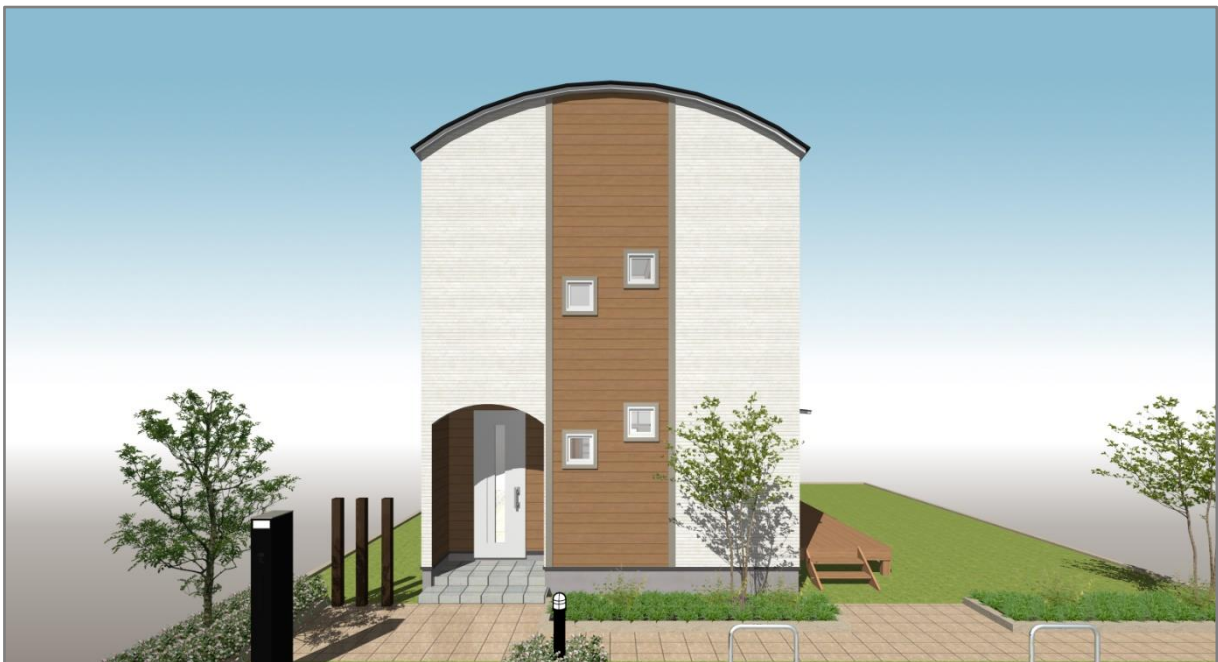
### Q. 質問

かまぼこ屋根や R（アール）屋根、1/4 円の屋根を入力したい。  
屋根にカーブをつけたい。

### A. 回答

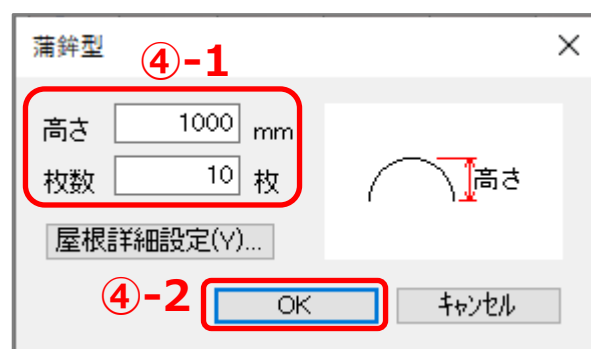
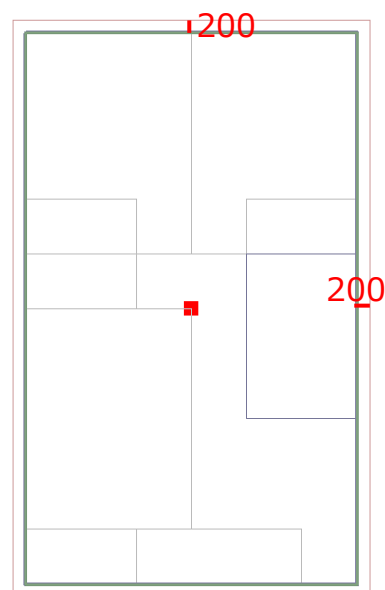
R（アール）屋根のように湾曲させた屋根を作成する場合は、 (屋根伏図) で  (蒲鉾屋根) を使用します。

ここでは、以下のような R（アール）屋根の入力方法を説明します。



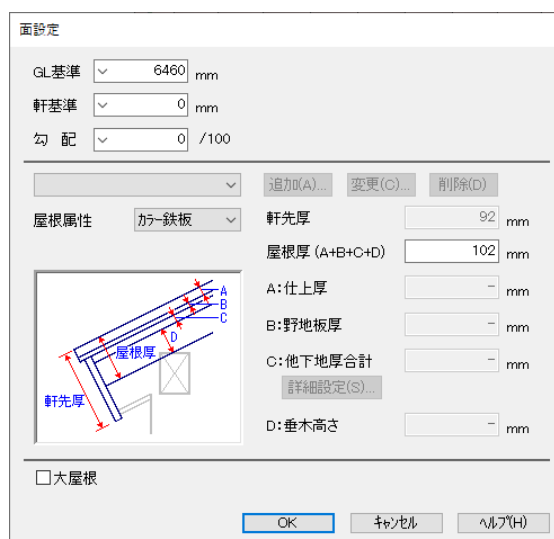
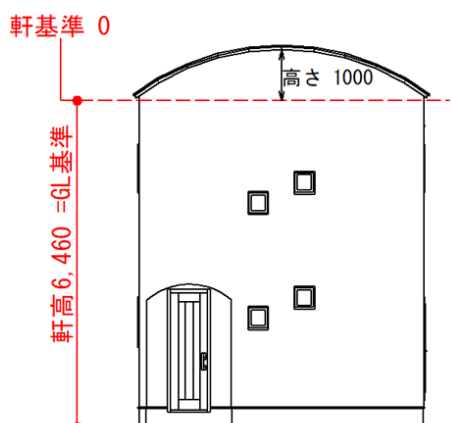
## 操作手順

- ① (屋根伏図)で2階を表示
- ② (下書き線)で、屋根形状の下書き線を配置
  - \* ここでは建物外郭から 200mm オフセットした位置に下書き線を入力します。
  - \* 下書き線の詳しい入力手順は省略します。
- ③ (面作成)をクリックし、 (蒲鉾屋根)をクリック
  - \* 蒲鉾型の設定画面が表示されます。
- ④ 高さ・枚数を指定し「OK」をクリック
  - \* 高さに、円弧の下端から上端までの高さ、枚数に、屋根面の枚数(分割数)を入力します。枚数を多くすると滑らかな円弧が表現できますが、データは重くなります。
  - \* ここでは、高さ「1000」mm、枚数「10」枚とします。



### 【参考】屋根詳細設定

屋根の高さ、屋根属性、屋根厚を設定できます。GL基準は円弧の下端の高さです。GL基準と軒基準は連動しており、GL基準が軒高と同じであれば軒基準は「0」です。GL基準が軒高よりも500高ければ軒基準は「500」となります。GL基準、軒基準どちらに数値を入力してもかまいません。勾配の設定は不要です。ここでは、屋根属性を「カラー鉄板」にしています。

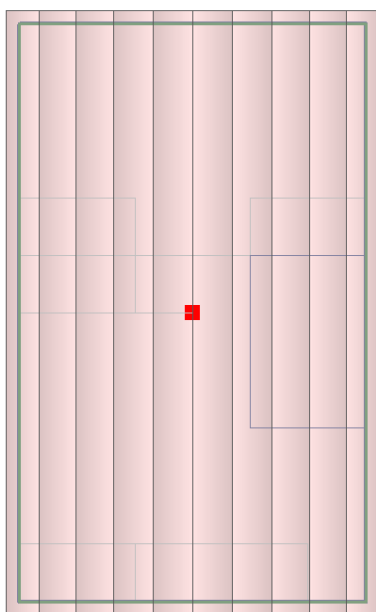
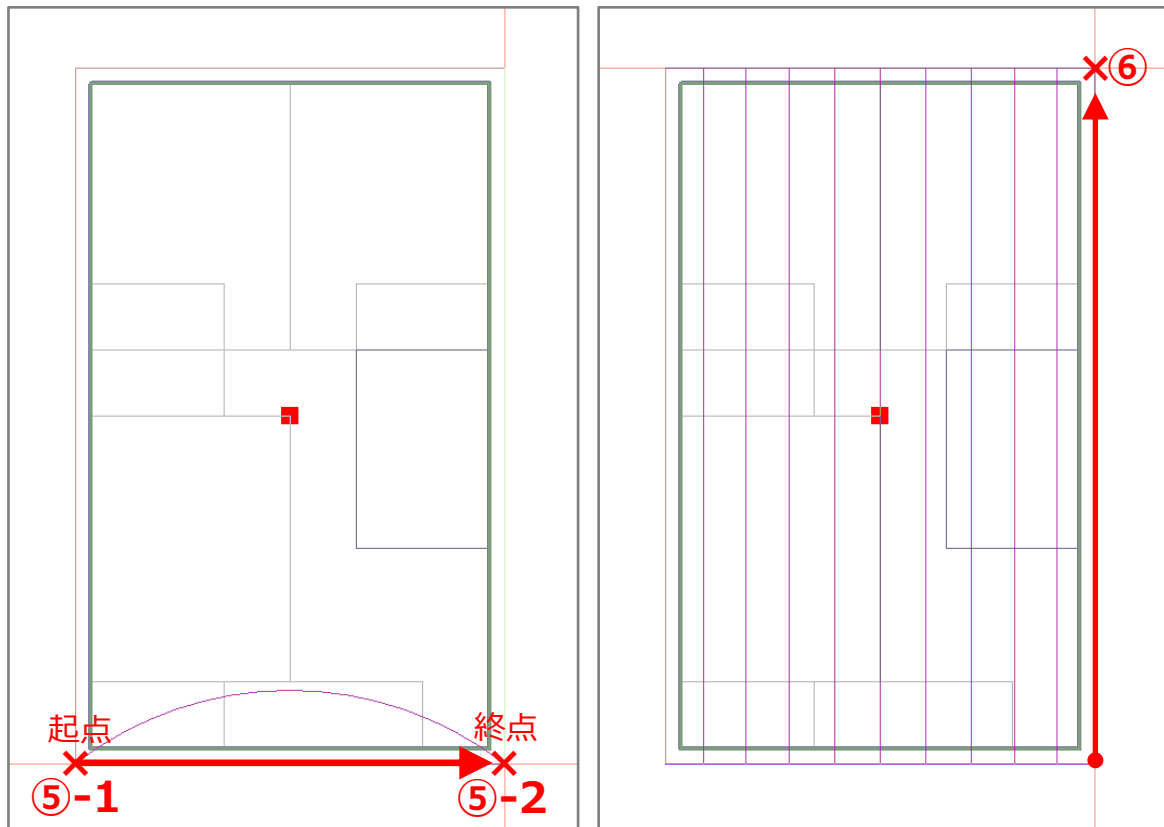


⑤ 蒲鉾屋根の妻側の下書き線を起点—終点で指示

- \* 起点をクリックすると、マウスの動きにあわせて円弧のラバーバンド表示が動きますので、終点でクリックします。

⑥ 妻壁に対して垂直な方向にマウスを移動し、平側の長さを指示

- \* マウスの動きにあわせて屋根のラバーバンド表示が動きますので、もう一方の妻側の下書き線でクリックします。



- \* 屋根面に色が付き蒲鉾屋根が配置されます。

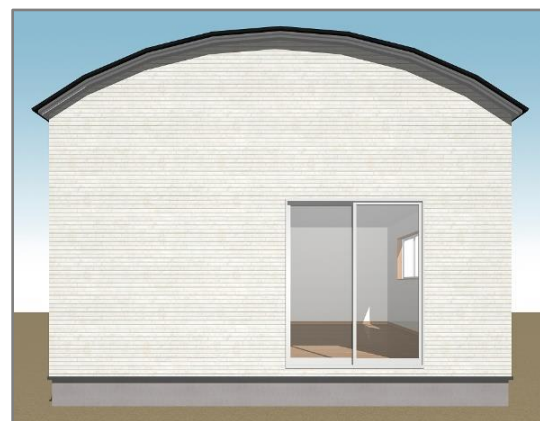
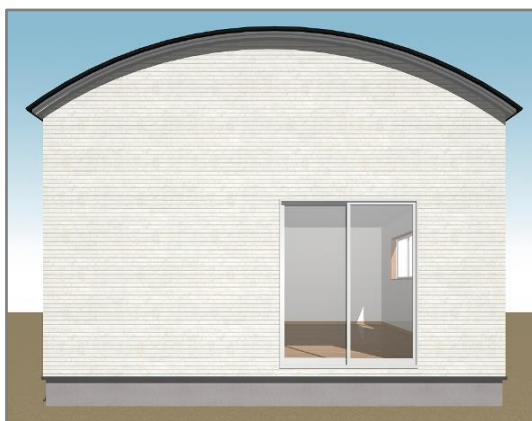
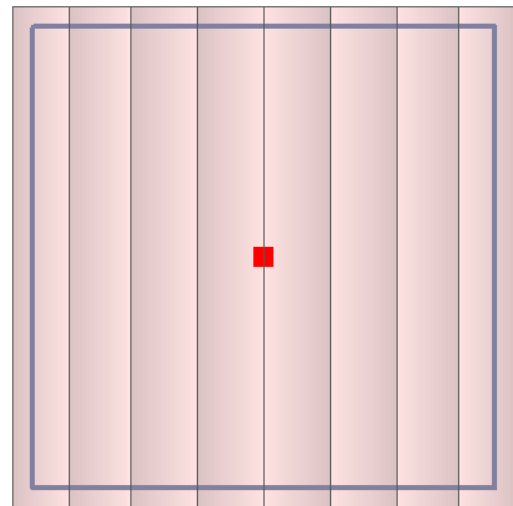
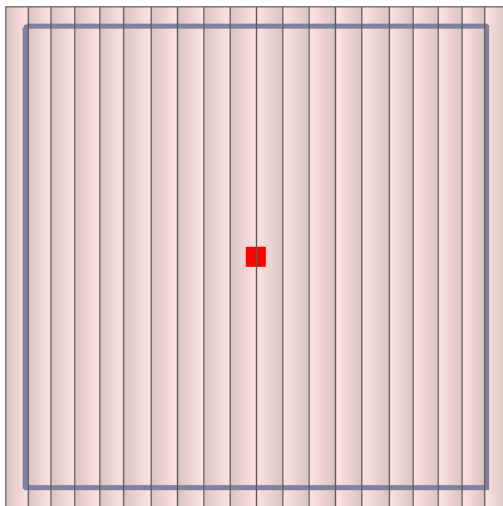
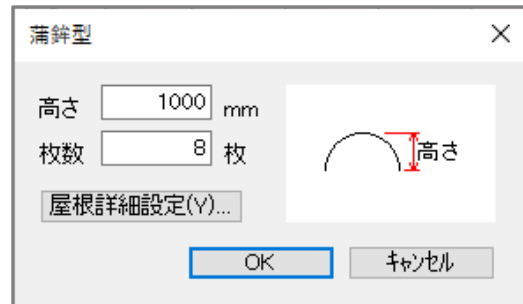
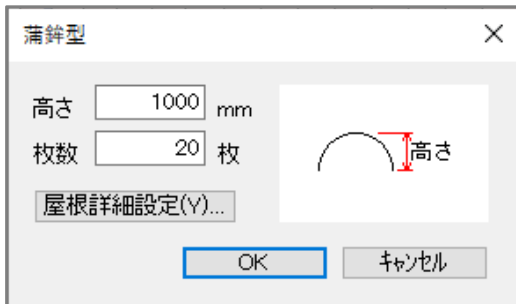
### 【参考】蒲鉾屋根の面の枚数

蒲鉾屋根は複数の屋根面を組み合わせ、円弧を表現しています。

枚数を多くすると滑らかな円弧が表現できますが、データは重くなります。

<枚数 20 枚 (多い) >


<枚数 8 枚 (少ない) >



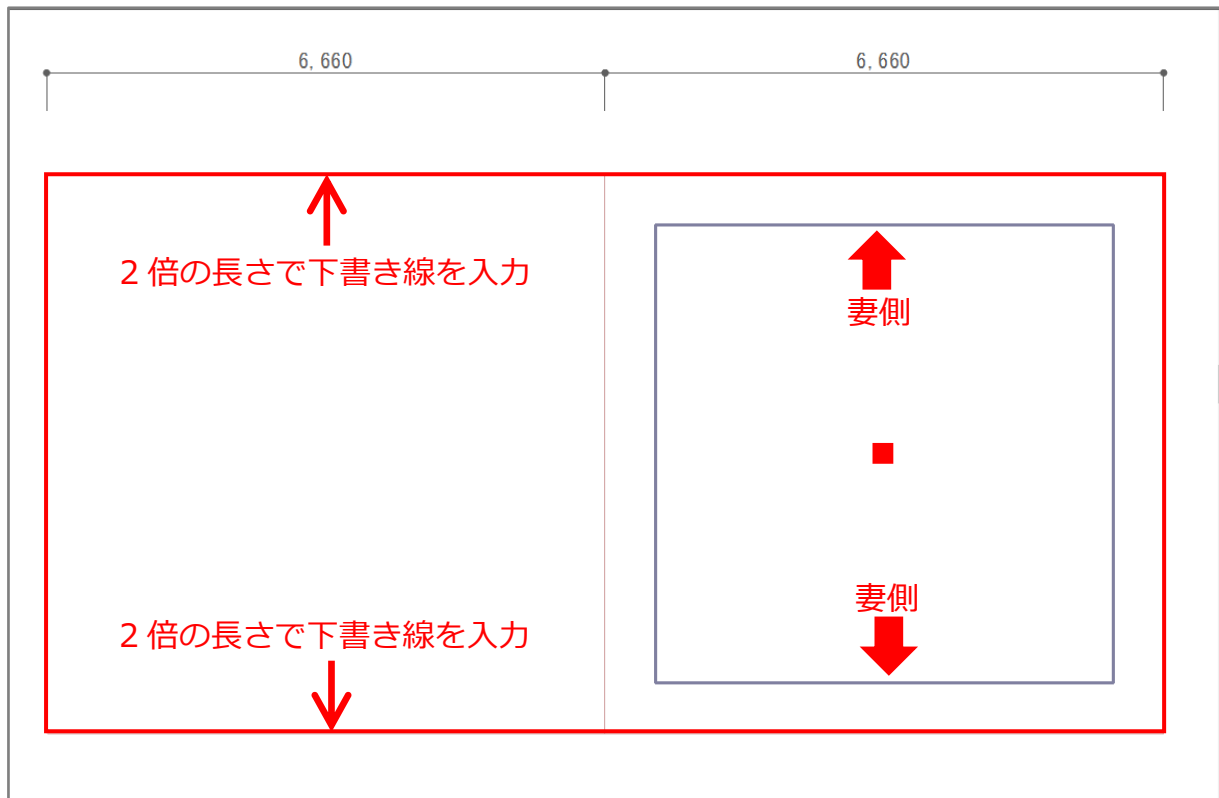
## 参考：1/4 円の屋根の入力方法

蒲鉾屋根を応用して、1/4 円の屋根が作成できます。

妻側を 2 倍の長さにして蒲鉾屋根を配置後、屋根の半分を削除して 1/4 円を表現します。

- ①  (下書き線)で、屋根形状の下書き線を配置

\* 妻側は 2 倍の長さで下書き線を入力します。

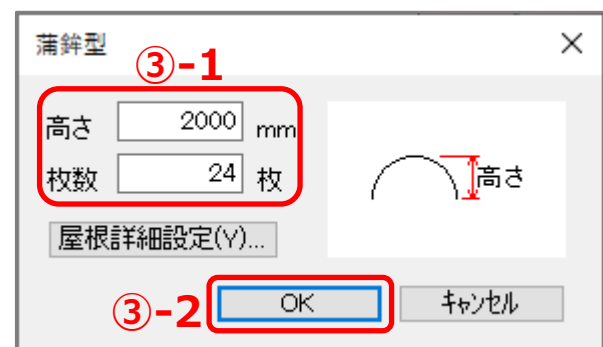


- ②  (面作成)の  (蒲鉾屋根)をクリック

\* 蒲鉾型の設定画面が表示されます。

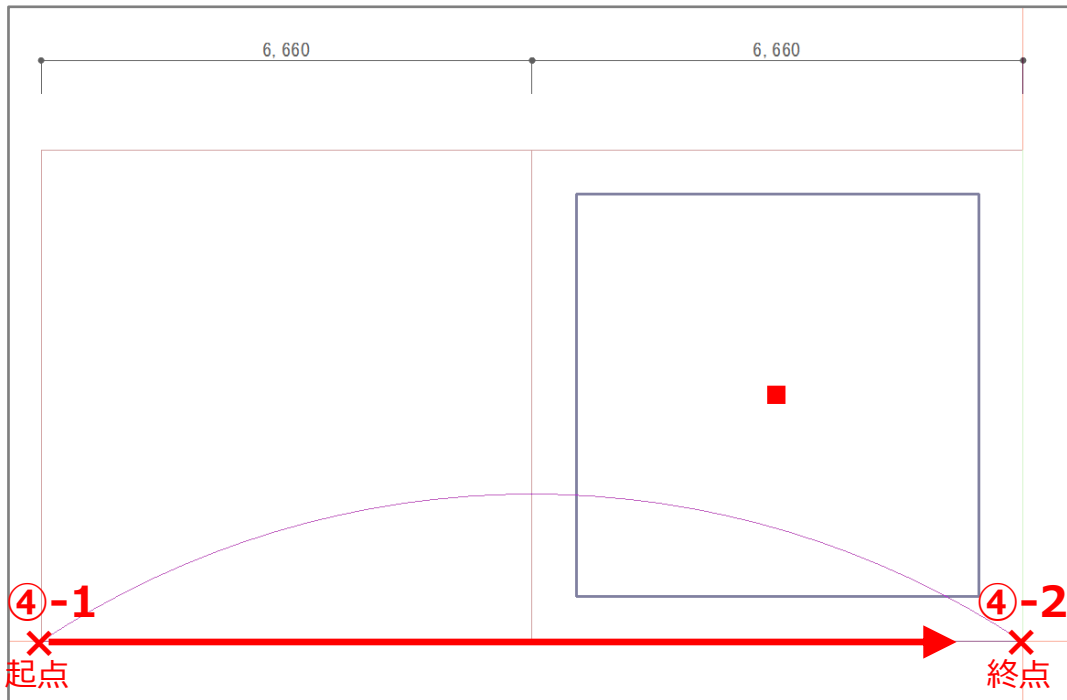
- ③ 高さ・枚数を指定し「OK」をクリック

- \* ここでは、高さ「2000」mm、枚数「24」枚とします。
- \* 1/4 円の倍の半円で屋根を入力するため、枚数は希望の枚数の 2 倍で設定してください。



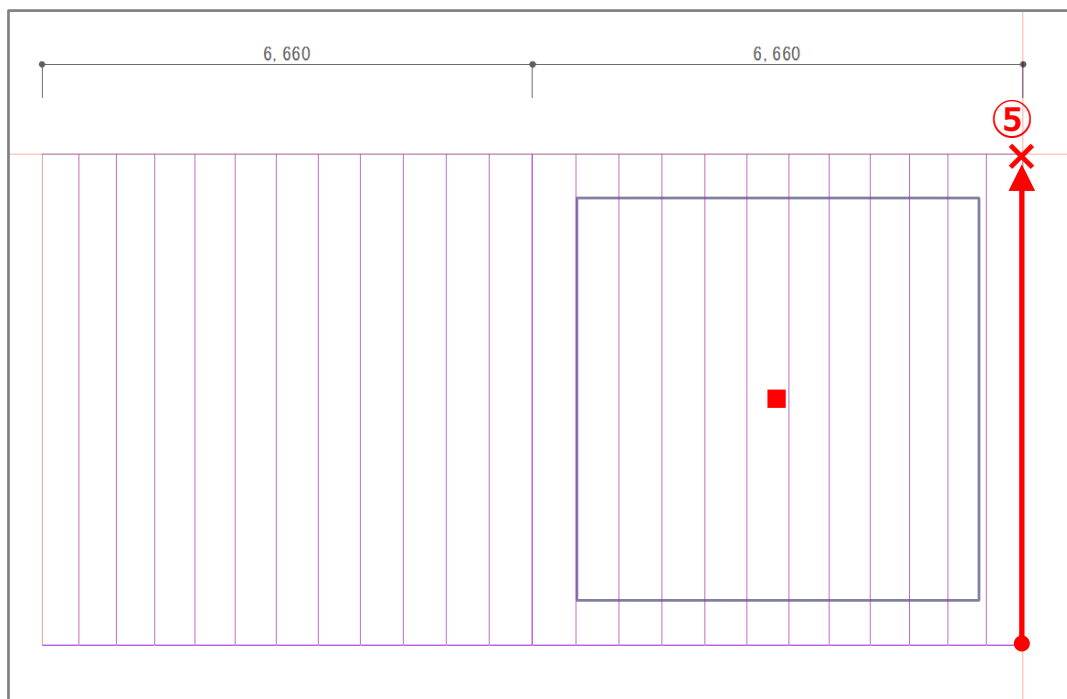
④ 蒲鉾屋根の妻側の下書き線を起点—終点で指示

- \* 起点をクリックすると、マウスの動きにあわせて円弧のラバーバンド表示が動きますので、終点でクリックします。



⑤ 妻壁に対して垂直な方向にマウスを移動し、平側の長さを指示

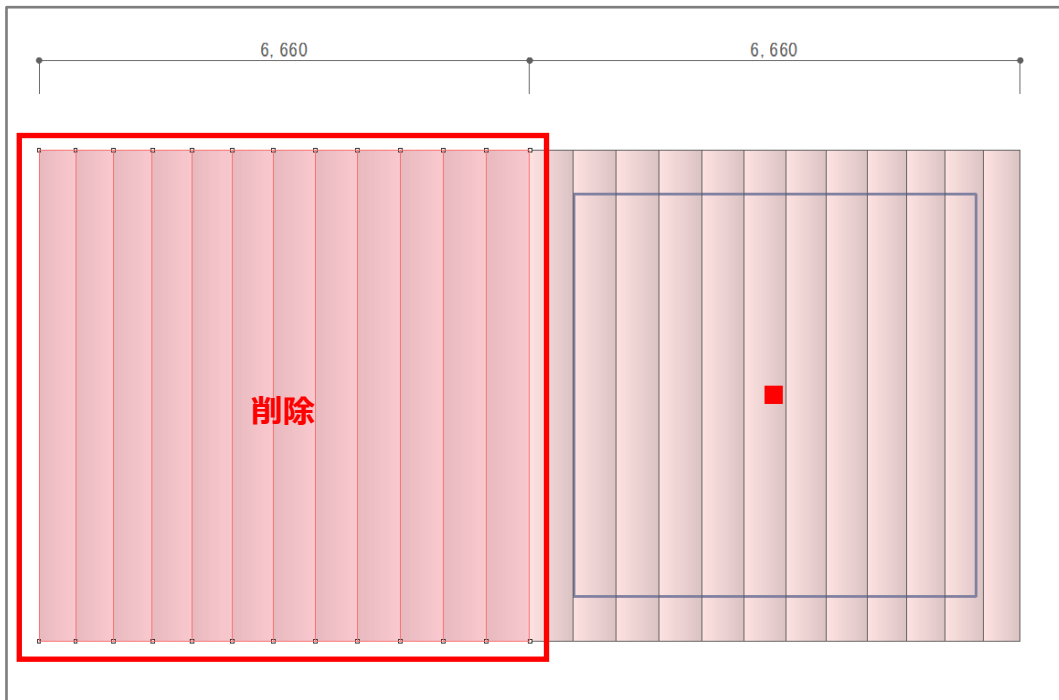
- \* マウスの動きにあわせて屋根のラバーバンド表示が動きますので、もう一方の妻側の下書き線でクリックします。



- \* 屋根面に色が付き蒲鉾屋根が配置されます。

⑥ (要素選択)で建物にかかっていない屋根面を選択し、削除

\* 削除したい屋根面を囲むように、対角から対角にドラッグすると、まとめて選択できます。



\* 蒲鉾屋根の半分が残り、1/4 円の屋根が表現できます。

